

# 高機能ヘリコプターテレビシステム

金子訓士\* 塩谷浩平+  
久野信幸\*\*  
森田俊二\*\*\*

## 要旨

災害時における被災状況の把握は、対策活動を行う上で重要な条件である。特に災害発生初期の活動はその後の被害拡大の防止に大きな影響を与えるが、混乱した状況下での情報収集は大きな困難を伴う。

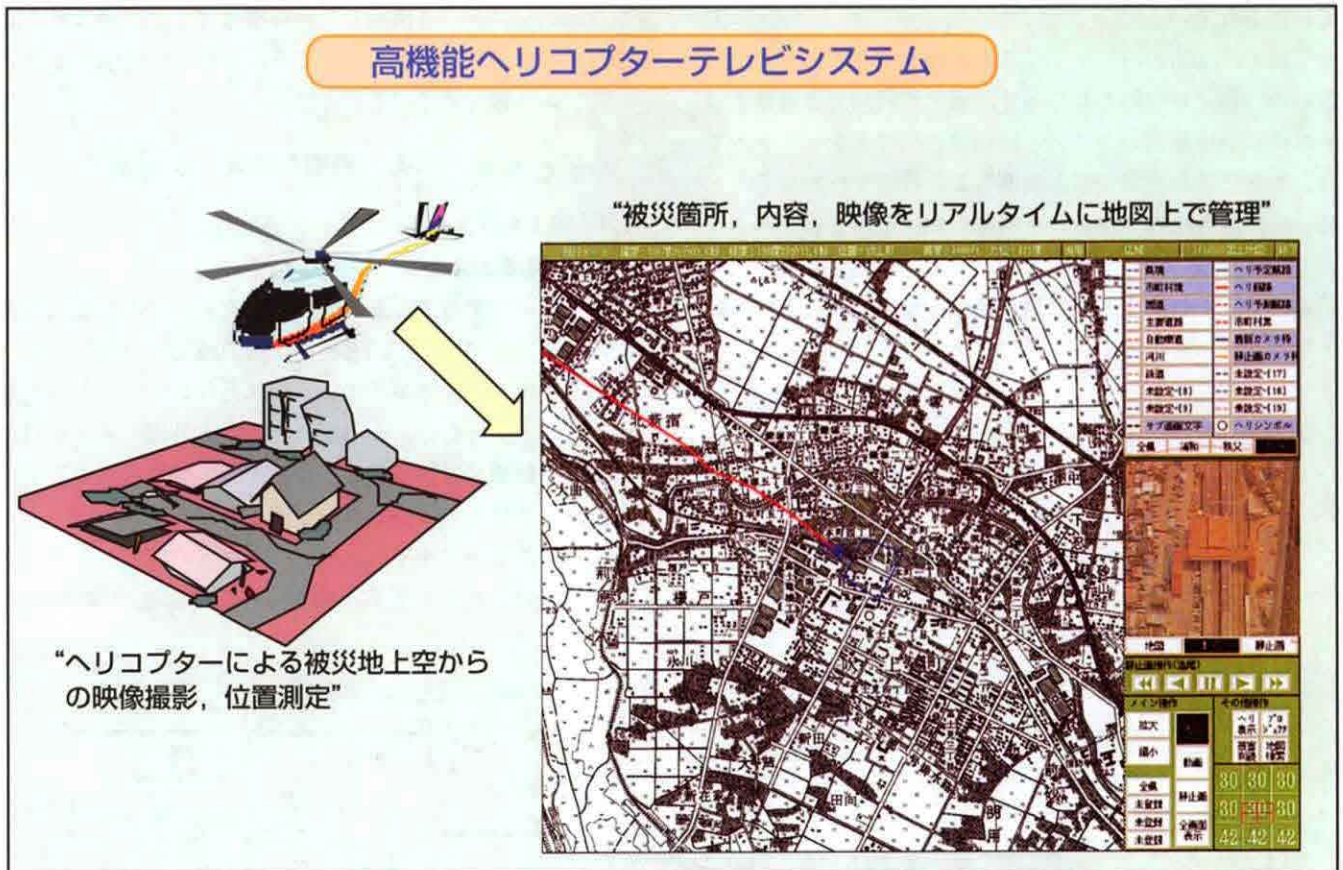
ヘリコプターテレビシステムは地上の混乱の影響を受けずに広域状況を把握する手段として注目されているが、災害対策への活用の際し、以下の課題がある。

- 撮影された映像の位置が分からない
- 映像の記録はVTRのみであり、任意の映像を検索できない
- 映像から把握した被害情報を管理する手段がない

三菱電機は、これらの課題を解決し、発災初期の被災状

況をリアルタイムに把握するシステムとして、ヘリコプターテレビ映像の高度活用システムである“高機能ヘリコプターテレビシステム”を開発した。高機能ヘリコプターテレビシステムは地図情報の活用によって映像の管理や被害状況の管理を実現しており、本稿ではシステムの特長、機能、構成について紹介する。

また、このシステムはヘリコプターテレビ映像と地図情報のリアルタイム連動を実現したシステムであり、災害対策以外にも応用範囲は広い。災害用途を始めとして、映像情報をより有効に活用するために、更に高機能化・高性能化への検討を進めていく。



## 高機能ヘリコプターテレビシステムの機能イメージ

高機能ヘリコプターテレビシステムでは、被災地上空を撮影中のヘリコプターから送られてくる映像と位置情報を、リアルタイムに地図画面上に表示する。映像と位置情報は関連付けて管理され、操作員は任意の地点での撮影映像を容易に検索して利用することができ、映像から認識した被害状況を地図上で一元管理することができる。